

令和3年度の広島県における生徒指導上の諸課題の現状について

1 要旨・目的

文部科学省が、「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」を公表したことを受け、本県の状況を取りまとめた。

2 現状・背景

児童生徒の問題行動等について、広島県内の状況を調査・分析することにより、学校における生徒指導上の諸課題の改善に向けた取組の充実を図り、児童生徒の問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応につなげていく。

3 概要

(1) 調査対象

県内の国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校・中等教育学校

(2) 調査期間

令和3年度

(3) 調査結果

別紙のとおり

(4) 課題分析

- 新型コロナウイルス感染症によって学校や家庭における生活や環境が大きく変化し、児童生徒の行動等にも大きな影響を与えていることがうかがえる。
- 暴力行為発生件数は増加した。小学校で大きく増加している。市町教育委員会からの聴き取りによると、行動制限のストレスによって感情を抑え切れず暴力に至ることや、コミュニケーション不足やコミュニケーション能力の未熟さにより暴力で不満を訴えるケースが増えているといった要因が挙げられた。行動制限のストレスやコミュニケーション活動が十分に行うことができない中で、軽微な行為が発生しやすい小学校において、特に件数が増加したものと考えている。
- いじめの認知件数は増加した。教職員による児童生徒の観察や声かけ、計画的な教育相談等により児童生徒の不安や悩み、訴えを積極的に把握していじめの早期発見につなげたことや、学校組織として被害児童の心情に寄り添い、いじめを積極的に認知したことによるものと考えている。

- 不登校児童生徒数は増加している。本人に係る状況、家庭に係る状況、学校に係る状況など要因は様々ではあるが、その背景として、コロナ禍が長期化したことによる生活環境の変化により生活リズムが乱れやすい状況や、学校生活に様々な制限がある中、登校する意欲が湧きにくい状況にあったこと等が考えられる。

(5) 今後の対応

- 児童生徒のストレスや不安の解消へ向けて、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家や関係機関と連携するなどして、個々の特性の背景を踏まえた計画的・組織的・継続的な指導・支援を行うことができるように、配置拡充を図っていく。また、児童生徒のコミュニケーション能力の一層の向上へ向けて、新型コロナウイルス感染症の状況に応じた体験学習や集団活動の指導の工夫や、感情のコントロールや対人関係スキルを体験的に学ぶなどの問題行動の予防を図る教育活動の一層の充実を図るよう、各市町教育委員会及び県立学校への指導・支援を行う。
- いじめの認知については、文部科学省において、発見できていないいじめがある可能性を考慮し、積極的な認知、早期対応に取り組むことが重要であるとされており、今後も、各学校がいじめを見逃さず、組織として確実に認知し、早期対応できるように、様々な研修等を通じて指導していく。
- 個々の児童生徒が不登校に至る要因は様々であるため、その状況に応じたきめ細やかな支援が必要である。不登校 SSR 推進校や広島県教育支援センター(SCHOOL“S”)における取組事例の発信などを通して、児童生徒が安心して生活でき、興味関心等に応じて学習に取り組むことができる環境の整備や不登校等児童生徒への支援の在り方や考え方を県全体へ普及し、各学校における児童生徒の社会的自立に向けた支援の強化・充実を図っていく。

4 その他（関連情報等）

県ホームページ

令和3年度の広島県における生徒指導上の諸課題の現状について

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/r03syokadaitop.html>

令和3年度の広島県における生徒指導上の
諸課題の現状について

令和4年11月

広島県教育委員会

目 次

令和3年度の広島県における生徒指導上の諸課題の状況について（概要）	1
生徒指導上の諸課題の年次推移（H29年度～R3年度）	2
国公私立小・中・高等学校（全日制・定時制・通信制）における暴力行為発生件数等の年次推移（H29年度～R3年度）	4
国公私立小・中・高等学校（全日制・定時制・通信制）・特別支援学校におけるいじめ認知件数等の年次推移（H29年度～R3年度）	5
国公私立小・中学校における長期欠席者数等の年次推移（H29年度～R3年度）	6
国公私立小・中・高等学校（全日制・定時制）における不登校児童生徒数等の年次推移（H29年度～R3年度）	7
国公私立高等学校（全日制・定時制・通信制）における中途退学者数等の年次推移（H29年度～R3年度）	8

※小学校には義務教育学校前期課程，中学校には義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程，高等学校には中等教育学校後期課程を含む。以下同様。

令和3年度の広島県における生徒指導上の諸課題の状況について（概要）

1 暴力行為の発生件数

- (1) 国公立小・中・高等学校（全日制・定時制・通信制）の合計は3,047件で、前年度と比較すると596件（24.3%）増加した。
- (2) 校種別に前年度と比較すると、小学校では1,965件で524件（36.4%）増加、中学校では959件で75件（8.5%）増加、高等学校では123件で3件（2.4%）減少した。
- (3) 令和2年度（2,451件）のピークと比較して、596件（24.3%）増加した。
- (4) 小学校において5年連続増加した。

2 いじめの認知件数

- (1) 国公立小・中・高等学校（全日制・定時制・通信制）・特別支援学校の合計は5,734件で、前年度と比較すると278件（5.1%）増加した。
- (2) 校種別に前年度と比較すると、小学校では4,154件で360件（9.5%）増加、中学校では1,388件で83件（5.6%）減少、高等学校では176件で2件（1.1%）減少、特別支援学校では16件で3件（23.1%）増加した。
- (3) 平成30年度（7,435件）のピークと比較して、1,701件（22.9%）減少した。

3 長期欠席者数

- (1) 国公立小・中学校の合計は9,804人で、前年度と比較すると3,249人（49.6%）増加した。
- (2) 校種別に前年度と比較すると、小学校では4,313人で1,698人（64.9%）増加、中学校では5,491人で1,551人（39.4%）増加した。
- (3) 令和2年度（6,555人）のピークと比較して、3,249人（49.6%）増加した。
- (4) 小学校では9年連続、中学校では8年連続増加した。

4 不登校児童生徒数

- (1) 国公立小・中・高等学校（全日制・定時制）の合計は7,246人で、前年度と比較すると1,593人（28.2%）増加した。
- (2) 校種別に前年度と比較すると、小学校では2,062人で424人（25.9%）増加、中学校では3,701人で905人（32.4%）増加、高等学校では1,483人で264人（21.7%）増加した。
- (3) 令和2年度（5,653人）のピークと比較して、1,593人（28.2%）増加した。
- (4) 小学校では6年連続、中学校では8年連続増加した。

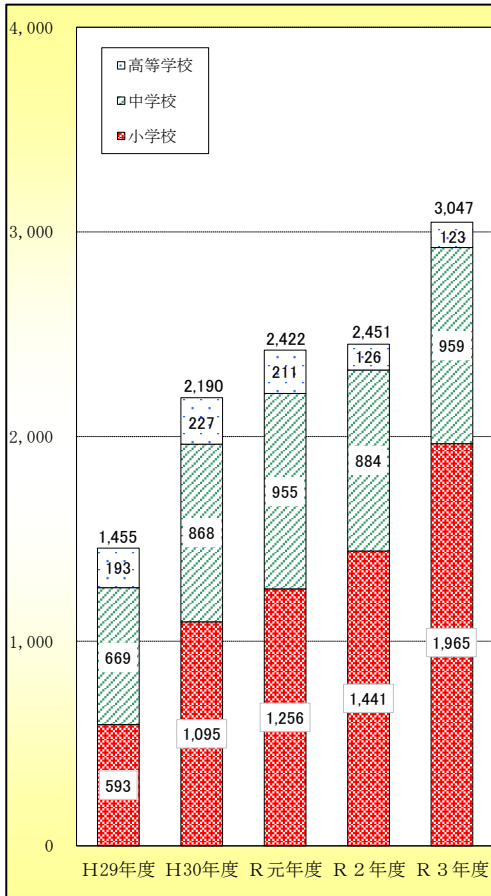
5 中途退学者数

- (1) 国公立高等学校（全日制・定時制・通信制）の合計は861人で、前年度と比較すると188人（27.9%）増加した。
- (2) 平成18年度（1,870人）のピークと比較して、1,009人（54.0%）減少した。

生徒指導上の諸課題の年次推移（H29年度～R3年度）

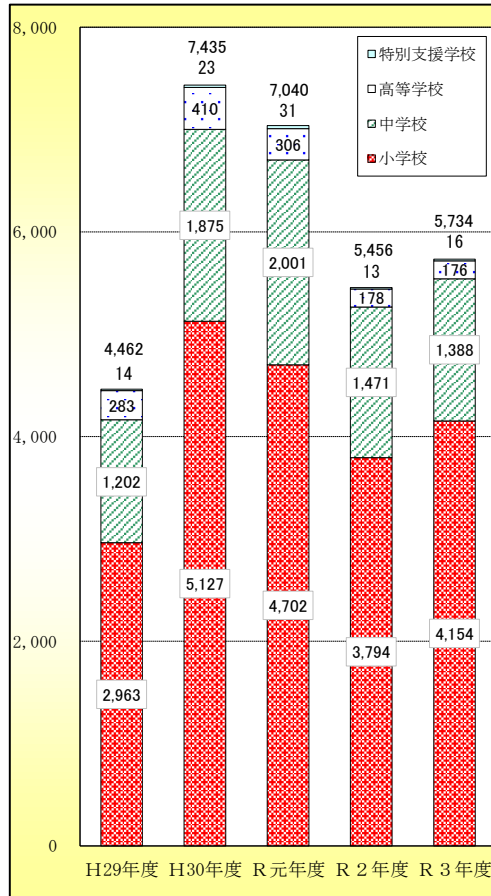
1 暴力行為の発生件数（件）

国公立小学校、中学校、高等学校（全日制・定時制・通信制）の合計



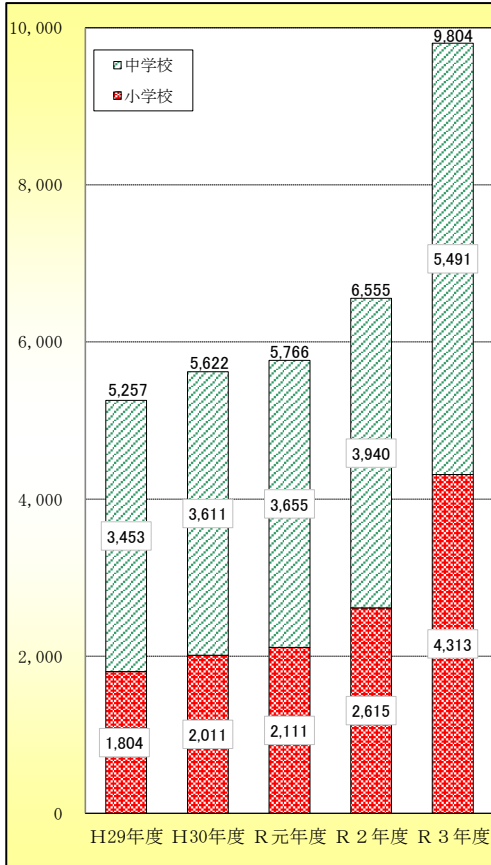
2 いじめの認知件数（件）

国公立小学校、中学校、高等学校（全日制・定時制・通信制）、特別支援学校の合計



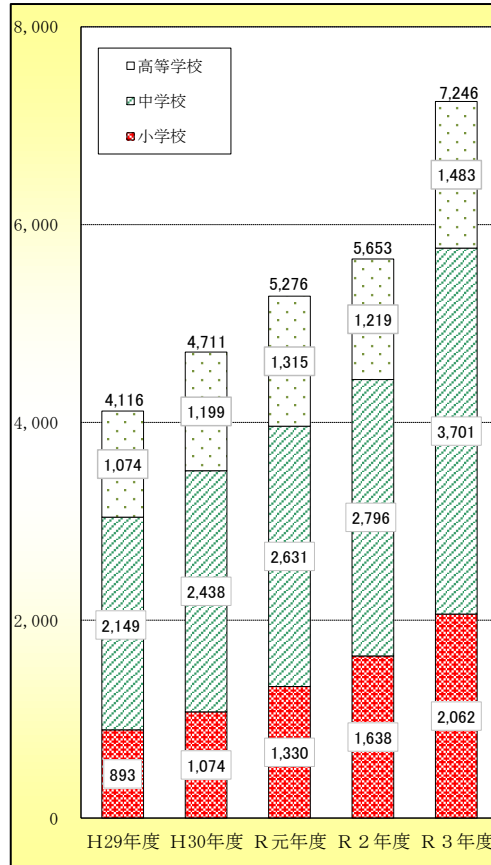
3 長期欠席児童生徒数（人）

国公立小学校、中学校の合計



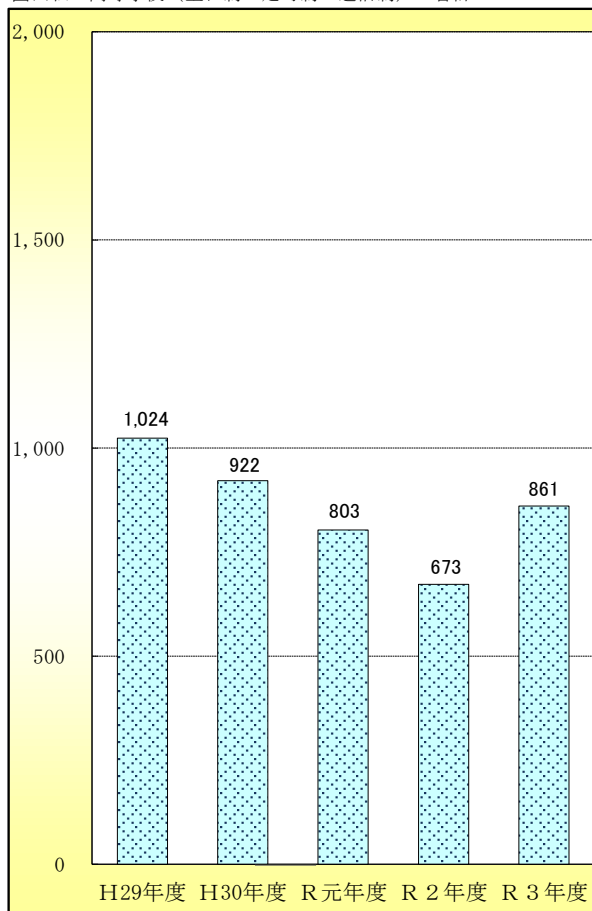
4 不登校児童生徒数（人）

国公立小学校、中学校、高等学校（全日制・定時制）の合計



5 中途退学者数（人）

国公立高等学校（全日制・定時制・通信制）の合計



本県の国公立学校における生徒指導上の諸課題のこれまでのピークとの比較

区分	これまでのピーク		令和3年度	増減	
	年度	発生（認知） 件数・人数	発生（認知） 件数・人数	発生（認知） 件数・人数	割合 (b-a)/a × 100
		a	b	b-a	
暴力行為	令和2年度	2,451件	3,047件	596件	24.3%
いじめ	平成30年度	7,435件	5,734件	△1,701件	△22.9%
長期欠席	令和2年度	6,555人	9,804人	3,249人	49.6%
不登校	令和2年度	5,653人	7,246人	1,593人	28.2%
中途退学	平成18年度	1,870人	861人	△1,009人	△54.0%

※国公立の小・中・高等学校での暴力行為、いじめの調査は平成18年度から実施

※国公立高等学校の不登校の調査は平成16年度から実施

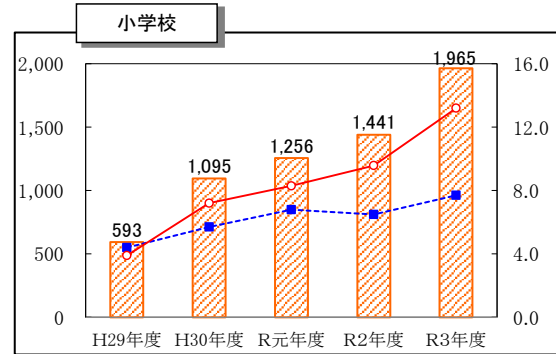
※国公立高等学校の中途退学の調査は平成17年度から実施

暴力行為

国公立小・中・高等学校（全日制・定時制・通信制）における暴力行為発生件数等の年次推移（H29年度～R3年度）

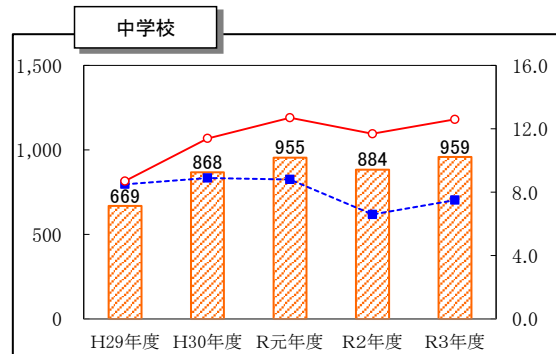
小学校

区分	発生件数		1,000人当たりの発生件数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)	全国 (国公立)
平成29年度	593	3.9	4.4	
平成30年度	1,095	7.2	5.7	
令和元年度	1,256	8.3	6.8	
令和2年度	1,441	9.6	6.5	
令和3年度	1,965	13.2	7.7	



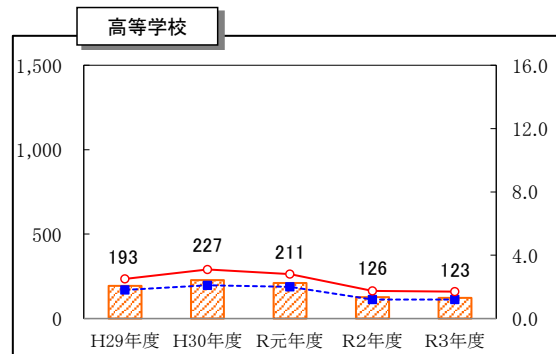
中学校

区分	発生件数		1,000人当たりの発生件数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)	全国 (国公立)
平成29年度	669	8.7	8.5	
平成30年度	868	11.4	8.9	
令和元年度	955	12.7	8.8	
令和2年度	884	11.7	6.6	
令和3年度	959	12.6	7.5	



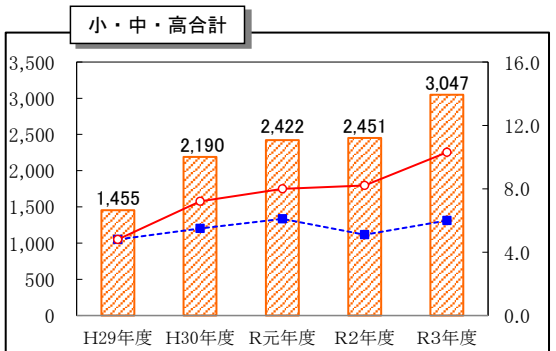
高等学校

区分	発生件数		1,000人当たりの発生件数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)	全国 (国公立)
平成29年度	193	2.5	1.8	
平成30年度	227	3.1	2.1	
令和元年度	211	2.8	2.0	
令和2年度	126	1.7	1.2	
令和3年度	123	1.7	1.2	



小・中・高合計

区分	発生件数		1,000人当たりの発生件数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)	全国 (国公立)
平成29年度	1,455	4.8	4.8	
平成30年度	2,190	7.2	5.5	
令和元年度	2,422	8.0	6.1	
令和2年度	2,451	8.2	5.1	
令和3年度	3,047	10.3	6.0	



※ 凡例共通

- 広島県（国公立）〈発生件数〉
- 広島県（国公立）〈1,000人当たりの発生件数〉
- 全国（国公立）〈1,000人当たりの発生件数〉

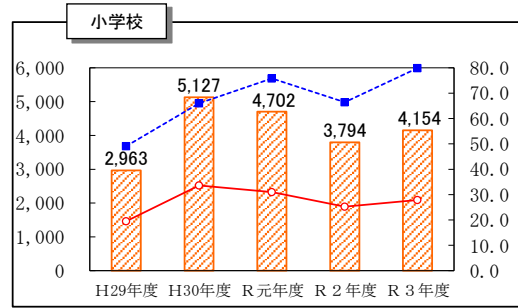
(注) 1,000人当たりの発生件数は、小数第二位を四捨五入している。

いじめ

国公私立小・中・高等学校（全日制・定時制・通信制）・特別支援学校における
いじめ認知件数等の年次推移（H29年度～R3年度）

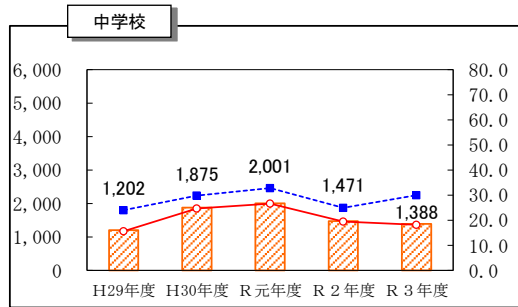
小学校

区分	認知件数	1,000人当たりの認知件数	
	広島県 (国公私立)	広島県 (国公私立)	全国 (国公私立)
平成29年度	2,963	19.5	49.1
平成30年度	5,127	33.6	66.0
令和元年度	4,702	31.0	75.8
令和2年度	3,794	25.2	66.5
令和3年度	4,154	27.9	79.9



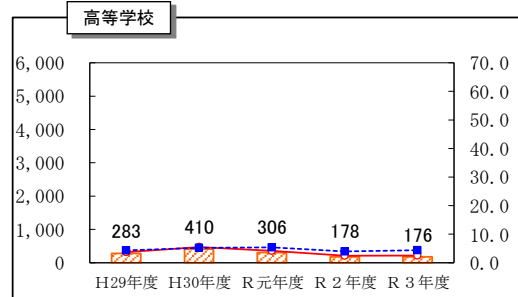
中学校

区分	認知件数	1,000人当たりの認知件数	
	広島県 (国公私立)	広島県 (国公私立)	全国 (国公私立)
平成29年度	1,202	15.6	24.0
平成30年度	1,875	24.7	29.8
令和元年度	2,001	26.6	32.8
令和2年度	1,471	19.5	24.9
令和3年度	1,388	18.2	30.0



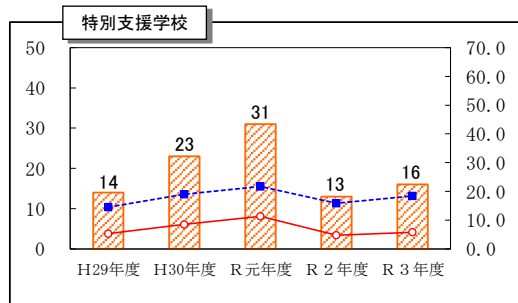
高等学校

区分	認知件数	1,000人当たりの認知件数	
	広島県 (国公私立)	広島県 (国公私立)	全国 (国公私立)
平成29年度	283	3.7	4.3
平成30年度	410	5.5	5.2
令和元年度	306	4.2	5.4
令和2年度	178	2.5	4.0
令和3年度	176	2.5	4.4



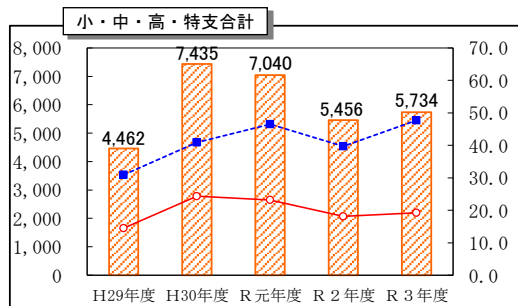
特別支援学校

区分	認知件数	1,000人当たりの認知件数	
	広島県 (国公私立)	広島県 (国公私立)	全国 (国公私立)
平成29年度	14	5.3	14.5
平成30年度	23	8.5	19.0
令和元年度	31	11.3	21.7
令和2年度	13	4.8	15.9
令和3年度	16	5.8	18.4



小・中・高・特支合計

区分	認知件数	1,000人当たりの認知件数	
	広島県 (国公私立)	広島県 (国公私立)	全国 (国公私立)
平成29年度	4,462	14.5	30.9
平成30年度	7,435	24.3	40.9
令和元年度	7,040	23.2	46.5
令和2年度	5,456	18.1	39.7
令和3年度	5,734	19.2	47.7



※ 凡例共通

- 広島県（国公私立）〈認知件数〉
- 広島県（国公私立）〈1,000人当たりの認知件数〉
- 全国（国公私立）〈1,000人当たりの認知件数〉

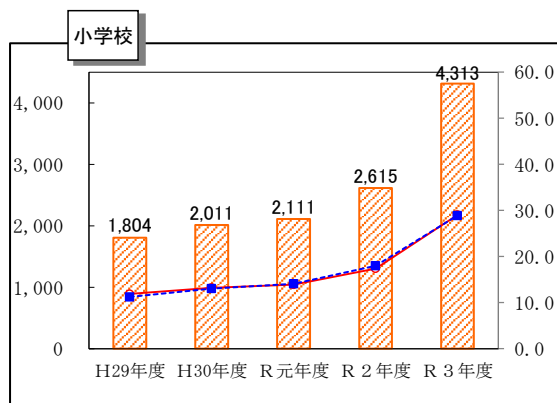
(注) 1,000人当たりの認知件数は、小数第二位を四捨五入している。

小・中学校長期欠席

国公立小・中学校における長期欠席者数等の年次推移（H29年度～R3年度）

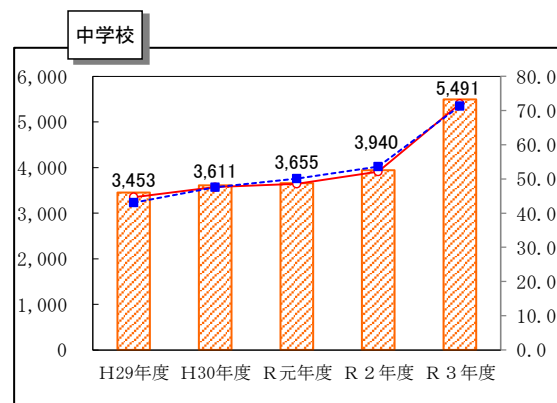
小学校

区分	長期欠席児童数		1,000人当たりの長期欠席児童数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)	全国 (国公立)
平成29年度	1,804	11.8	11.2	
平成30年度	2,011	13.2	13.0	
令和元年度	2,111	13.9	14.1	
令和2年度	2,615	17.4	18.0	
令和3年度	4,313	29.0	28.9	



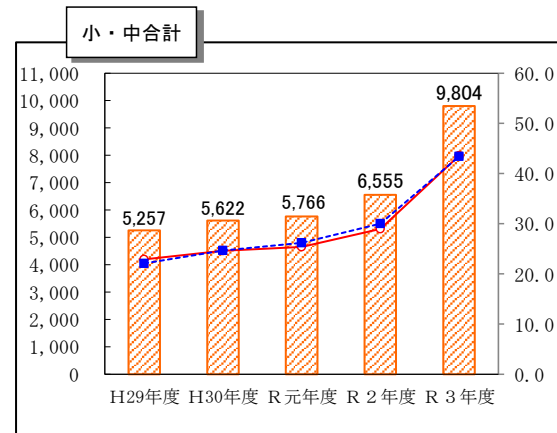
中学校

区分	長期欠席生徒数		1,000人当たりの長期欠席生徒数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)	全国 (国公立)
平成29年度	3,453	44.7	43.0	
平成30年度	3,611	47.6	47.6	
令和元年度	3,655	48.6	50.1	
令和2年度	3,940	52.1	53.6	
令和3年度	5,491	72.0	71.3	


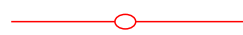



小・中合計

区分	長期欠席児童生徒数		1,000人当たりの長期欠席児童生徒数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)	全国 (国公立)
平成29年度	5,257	22.9	22.1	
平成30年度	5,622	24.6	24.7	
令和元年度	5,766	25.4	26.2	
令和2年度	6,555	29.0	30.0	
令和3年度	9,804	43.6	43.4	



※ 凡例共通

-  広島県（国公立）（長期欠席児童生徒数）
-  広島県（国公立）（1,000人当たりの長期欠席児童生徒数）
-  全国（国公立）（1,000人当たりの長期欠席児童生徒数）

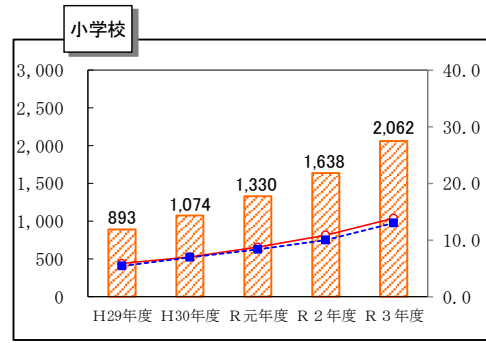
（注） 1,000人当たりの長期欠席児童生徒数は、小数第二位を四捨五入している。

不登校

国公私立小・中・高等学校（全日制・定時制）における不登校児童生徒数等の
年次推移（H29年度～R3年度）

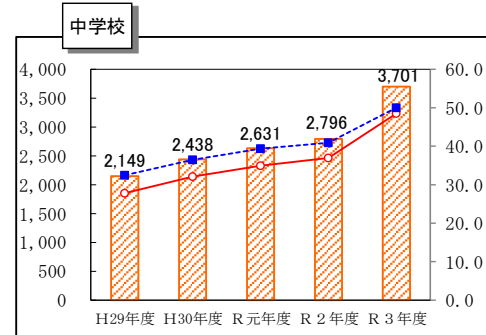
小学校

区分	不登校児童数		1,000人当たりの不登校児童数	
	広島県 (国公私立)	広島県 (国公私立)	全国 (国公私立)	全国 (国公私立)
平成29年度	893	5.9	5.4	
平成30年度	1,074	7.0	7.0	
令和元年度	1,330	8.8	8.3	
令和2年度	1,638	10.9	10.0	
令和3年度	2,062	13.9	13.0	



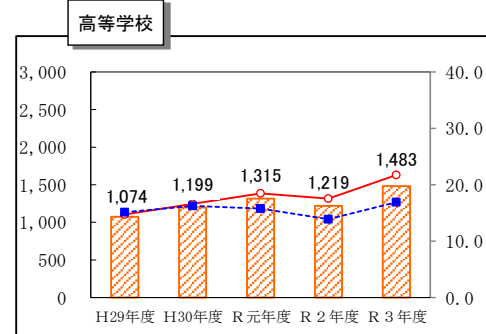
中学校

区分	不登校生徒数		1,000人当たりの不登校生徒数	
	広島県 (国公私立)	広島県 (国公私立)	全国 (国公私立)	全国 (国公私立)
平成29年度	2,149	27.8	32.5	
平成30年度	2,438	32.1	36.5	
令和元年度	2,631	34.9	39.4	
令和2年度	2,796	37.0	40.9	
令和3年度	3,701	48.5	50.0	



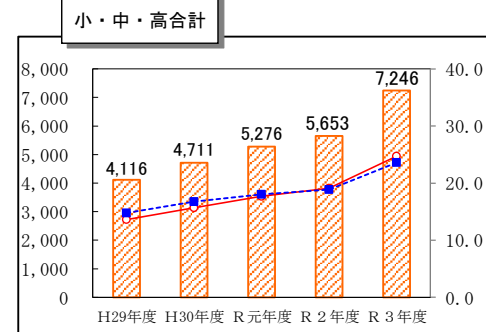
高等学校

区分	不登校生徒数		1,000人当たりの不登校生徒数	
	広島県 (国公私立)	広島県 (国公私立)	全国 (国公私立)	全国 (国公私立)
平成29年度	1,074	14.7	15.1	
平成30年度	1,199	16.6	16.3	
令和元年度	1,315	18.5	15.8	
令和2年度	1,219	17.5	13.9	
令和3年度	1,483	21.7	16.9	



小・中・高合計

区分	不登校児童生徒数		1,000人当たりの不登校児童生徒数	
	広島県 (国公私立)	広島県 (国公私立)	全国 (国公私立)	全国 (国公私立)
平成29年度	4,116	13.6	14.8	
平成30年度	4,711	15.7	16.7	
令和元年度	5,276	17.7	18.0	
令和2年度	5,653	19.1	18.9	
令和3年度	7,246	24.7	23.6	



※ 凡例共通

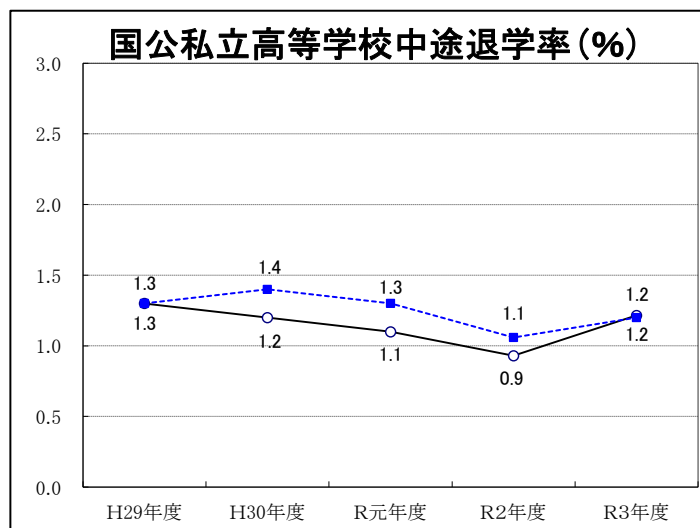
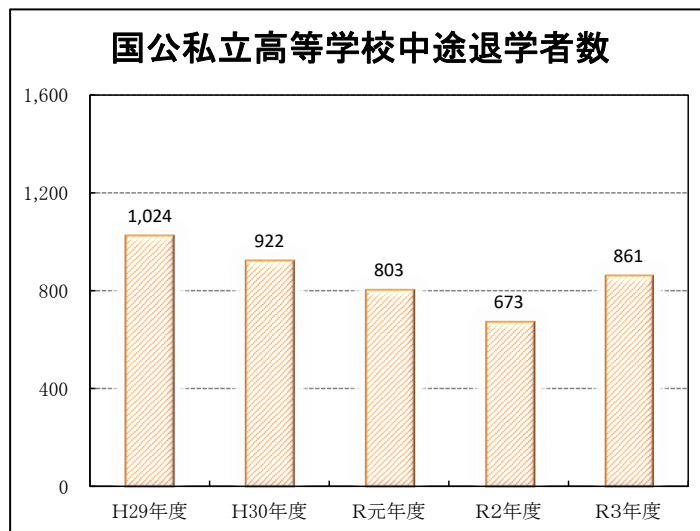
- 広島県（国公私立）〈不登校児童生徒数〉
- 広島県（国公私立）〈1,000人当たりの不登校児童生徒数〉
- 全国（国公私立）〈1,000人当たりの不登校児童生徒数〉

(注) 1,000人当たりの不登校児童生徒数は、小数第二位を四捨五入している。

中途退学

国公立高等学校（全日制・定時制・通信制）における中途退学者数等の年次推移
（H29年度～R3年度）

年度	中途退学者数	中途退学率（％）	
	広島県 （国公立）	広島県 （国公立）	全国 （国公立）
平成29年度	1,024	1.3	1.3
平成30年度	922	1.2	1.4
令和元年度	803	1.1	1.3
令和2年度	673	0.9	1.1
令和3年度	861	1.2	1.2



※ 凡例共通

—○— 広島県（国公立）〈中途退学率〉
- - -■- - 全国（国公立）〈中途退学率〉

（注） 中途退学率は、小数第二位を四捨五入している。